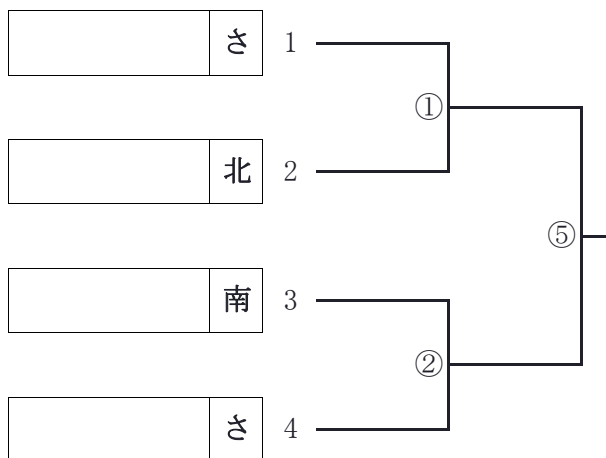


第32回全日本少年サッカー大会 埼玉県南部地区大会組み合わせ(5/18)

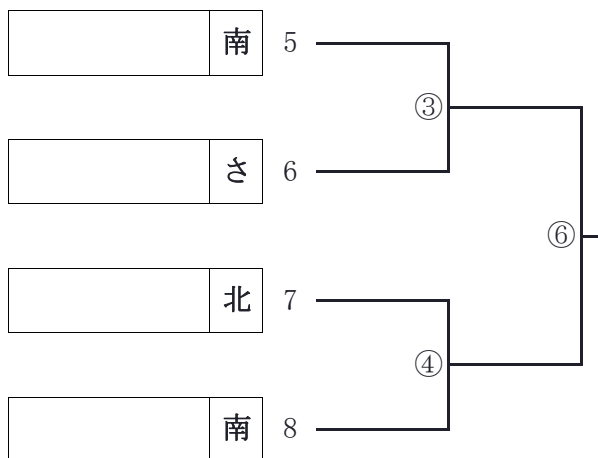
Aブロック

(さいたま2、北足立南部1、北足立北部1)



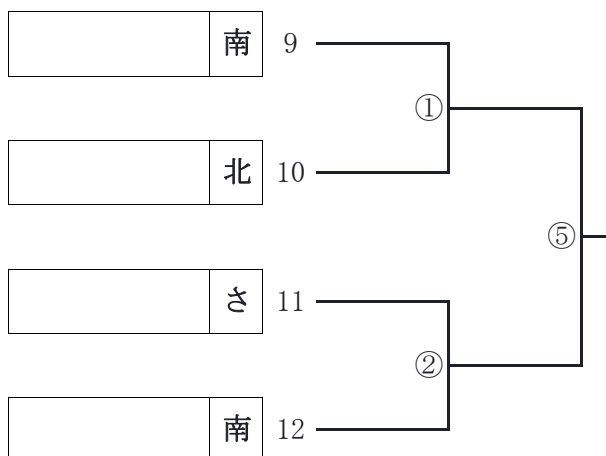
Bブロック

(さいたま1、北足立南部2、北足立北部1)



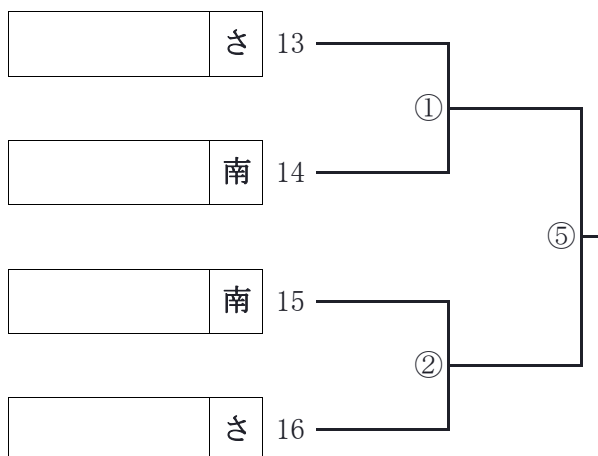
Cブロック

(さいたま1、北足立南部2、北足立北部1)



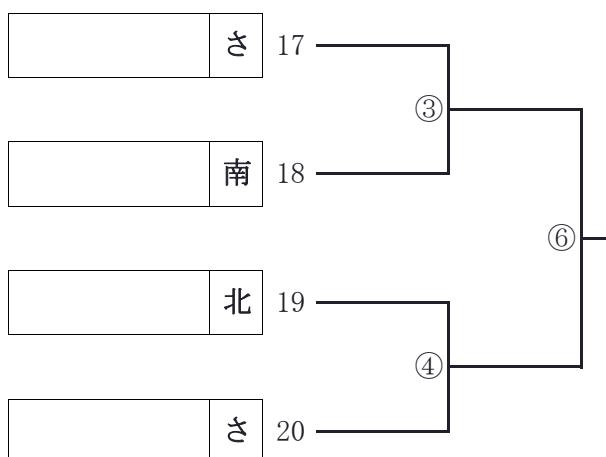
Dブロック

(さいたま2、北足立南部2)



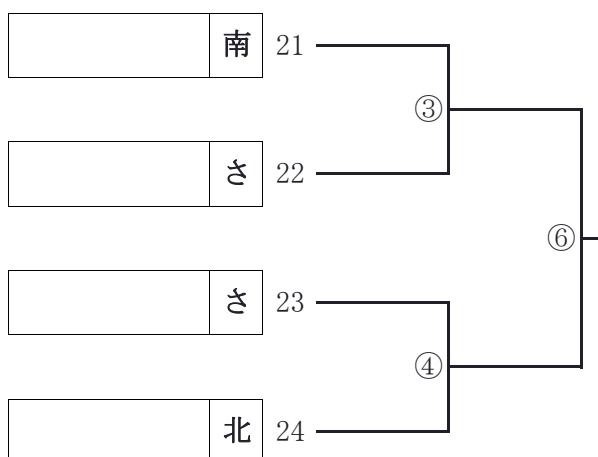
Eブロック

(さいたま2、北足立南部1、北足立北部1)



Fブロック

(さいたま2、北足立南部1、北足立北部1)



第 32 回全日本少年サッカー大会 埼玉県南部地区大会

§ ・ ブロック [グラウンド]

| No. | キックオフ | 試 合 | 主審・4 審 | 副 審 1 | 副 審 2 |
|-----|-----------|-------------|--------|-------|-------|
| ① | 1 0 : 0 0 | 1 - 2 | 派遣審判 | 5 | 6 |
| ② | 1 1 : 0 0 | 3 - 4 | | 7 | 8 |
| ③ | 1 2 : 0 0 | 5 - 6 | | 1 | 2 |
| ④ | 1 3 : 0 0 | 7 - 8 | | 3 | 4 |
| ⑤ | 1 4 : 0 0 | ①の勝者 — ②の勝者 | | 派遣審判 | 派遣審判 |
| ⑥ | 1 5 : 0 0 | ③の勝者 — ④の勝者 | | | |

§ ・ ブロック [グラウンド]

| No. | キックオフ | 試 合 | 主審・4 審 | 副 審 1 | 副 審 2 |
|-----|-----------|-------------|--------|-------|-------|
| ① | 1 0 : 0 0 | 1 - 2 | 派遣審判 | 5 | 6 |
| ② | 1 1 : 0 0 | 3 - 4 | | 7 | 8 |
| ③ | 1 2 : 0 0 | 5 - 6 | | 1 | 2 |
| ④ | 1 3 : 0 0 | 7 - 8 | | 3 | 4 |
| ⑤ | 1 4 : 0 0 | ①の勝者 — ②の勝者 | | 派遣審判 | 派遣審判 |
| ⑥ | 1 5 : 0 0 | ③の勝者 — ④の勝者 | | | |

§ ・ ブロック [グラウンド]

| No. | キックオフ | 試 合 | 主審・4 審 | 副 審 1 | 副 審 2 |
|-----|-----------|-------------|--------|-------|-------|
| ① | 1 0 : 0 0 | 1 - 2 | 派遣審判 | 5 | 6 |
| ② | 1 1 : 0 0 | 3 - 4 | | 7 | 8 |
| ③ | 1 2 : 0 0 | 5 - 6 | | 1 | 2 |
| ④ | 1 3 : 0 0 | 7 - 8 | | 3 | 4 |
| ⑤ | 1 4 : 0 0 | ①の勝者 — ②の勝者 | | 派遣審判 | 派遣審判 |
| ⑥ | 1 5 : 0 0 | ③の勝者 — ④の勝者 | | | |

第32回全日本少年サッカー大会 埼玉県南部地区大会実施要項

- 1 目 的 少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目指す。
- 2 主 催 財団法人日本サッカー協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社
- 3 主 管 財団法人埼玉県サッカー協会 第4種委員会
- 4 運 営 埼玉県南部地区少年サッカー連絡協議会
- 5 期 日 2008年5月18日（日） 予備日 5月25日（日）
- 6 会 場 新座多目的グラウンド 与野八王子サッカー場 北本中丸グラウンド
- 7 参加資格 (1) 2008年度財団法人日本サッカー協会第4種又は女子（小学生）登録済で年間を通じて継続的に活動しているチームであり、地区予選を勝ち抜いたチーム
(2) 単一チームに限られ、選抜チーム（複数チームの所属選手で構成し、本大会への参加のみを目的とし、大会終了後選手が他の所属チームに移籍し活動するチーム）の参加は不可とする。
(3) 前(1)のチームに所属する選手であり、財団法人日本サッカー協会発行の選手証を有し、スポーツ傷害保険に加入済であること
(4) 第32回全日本少年サッカー大会埼玉県大会参加申込書提出後の選手変更は認めない。
- 8 競技方法 (1) トーナメント方式とする。
(2) 試合時間は40分とし、勝敗の決しない時は10分間の延長戦を1回行い、なお決しない場合はPK方式による。
- 9 競技規則 財団法人日本サッカー協会競技規則2007／2008
- 10 選手交代 登録選手（20名以内）の範囲内で自由な交代を認める。
- 11 使用球 公認4号縫いボールとし、チーム持ち寄りとする。
- 12 服 装 登録されたユニフォームを着用する。
ポイント取り替え式のスパイクの使用は認めない。
- 13 代表権 各ブロック1位チームを、6月7日（土）から行われる、埼玉県大会に南部地区代表として推薦する。
- 14 審 判 一回戦の主審・第4の審判員は南部地区連絡協議会審判部会からの派遣とし、副審はチーム帯同とする。二回戦については、全て審判部会からの派遣とする。
- 15 雨天判定 小雨決行（判定6時）

確 認 事 項

- 1、メンバー表の提出、選手証及びユニフォームの確認について
 - (1) 試合開始時刻40分前までにメンバー表を本部に提出するとともに、メンバー表に記載した全選手の選手証を提示しメンバー表との照合・確認を受ける。ただし、選手証未着の場合は、Web登録画面の登録手続き済選手名簿の提示で替えることができる。
 - (2) メンバー表は、指定の用紙に必要な事項をすべて記入し、試合ごとに1部提出する。
 - (3) 試合開始40分前に、正副2組のユニフォームを持参して審判員によるチェックを受ける。
(対戦相手と類似色の場合は、話し合い又は主審のトスにより決定する。)
 - (4) 交代要員を含む全選手と選手証・メンバー表との照合及び用具等の確認を試合開始10分前から受ける。
- 2、選手交代について
 - (1) 交代カードに必要な事項をすべて記入し第4の審判員に提出する。
 - (2) 主審の承認を得て指定された場所から行うこと
- 3、ベンチについて
 - (1) ベンチに入れる者は、登録選手20名と、登録された監督・コーチ5名以内とする。
 - (2) チームベンチは競技のフィールドに向かって左側をトーナメント表の若い番号のチームとし、対戦相手が右側とする。
 - (3) ベンチからの指示等は、指導者としてふさわしい言動で臨むこと
(戦術的指示を伝えることができるのは、テクニカルエリア内でその都度1名とする。)
 - (4) 退席を命じられた指導者は、次の1試合はベンチに入ることはできない。
 - (5) ベンチでの携帯電話の使用は禁止する。
- 4、飲水タイムについて
必要に応じて設ける。(競技場内での飲水は『水』のみとする。)
- 5、帯同審判員について
正装して前試合の前半終了後直ちに本部に集合し、本部による審判証の確認を受けた後、担当主審の指示を受けて打ち合わせ等を行う。
- 6、その他
 - (1) チームの代表者は、自チームの試合開始時刻1時間前までに受付を済ませること
 - (2) 退場を命じられた選手は次の1試合は出場できない。警告を累積2回受けた選手も同様とする。
 - (3) 試合中のグラウンド外でのアップは指定された場所で行うこと ハーフタイム中のグラウンド内での練習は不可とし、試合前のグラウンド内での練習は指示に従うこと
 - (4) チームの責任者は、帰る時も必ず本部に報告すること
 - (5) 指定された場所以外での喫煙は禁止する。
 - (6) 弁当容器・ペットボトル・空き缶等のゴミは、すべてチームの責任で持ち帰ること
・ ゴミ袋の準備の有無を受付時本部で確認する。(現物を提示すること)
- 7、要項・確認事項の各条項が守られない場合又は大会運営に対し不適切な行為等があった場合は、南部地区少年サッカー連絡協議会役員会において審議する。(JFA規律規定による。)
- 8、雨天等による中止の決定は、地区責任者を通じて連絡する。(小雨決行・6時決定)

☆ 以上のことについて、参加される保護者関係者に周知徹底してください。